

公正・公平で信頼できる税務行政を 府民の安心・安全な暮らしのために

民営化、コスト削減で住民に被害

この数年間、「規制緩和」「官から民へ」「小さな政府」のスローガンのもと、さまざまな手法で公務の民営化がすすめられてきました。

その結果、住民の安全や安心より、「コスト削減」「効率化」を最優先する行政は、住民に多大の被害をもたらすことが明らかになっています。数年前に大問題となった“耐震偽装事件”は、「建築確認検査」を民営化したことが原因です。

使い方も集め方も納税者の権利守って

税金（地方税）は、その地域で暮らす住民の生活を支える財源。だからこそ、使い方も集め

方も、公正・公平で、主権者である納税者の権利が守られなくてはなりません。

「うっかり税金を払い忘れてたら、債権回収会社から休日に電話がかかってくる」「問い合わせしたら、制度の説明だけで相談にのってもらえない」「納税が遅れたら、いきなり差押えされた」など、納税者である府民が被害を受けることが心配されています。

私たちは、公正・公平で信頼できる税務行政をすすめることが大切と考え、税の民間委託には反対です。

“安けりゃOK” でワーキング プア増加

税金の仕事を委託された民間企業が、利益をあげるために、人件費を安くしようとするのは当然のことです。いったん委託すれば、パートや派遣など、どんなふうにも働かせるかは民間企業の自由。民間委託は、より安上がりで不安定な労働者を作り出し、民間企業をもうけさせることが最大の目的です。

「派遣切り」「貧困と格差」が大きな社会問題になっている今、行政があらたにワーキングプアを作り出していいのでしょうか。

納税者リストをゴミ捨て場に

岡山市では、市が行う納税者の自宅訪問の仕事を派遣労働者に依頼しましたが、渡していた「納税者リスト」がゴミステーションに捨てられるという事件が起こりました。リストを捨てた派遣労働者は「仕事がイヤになって捨てた」と言っています。岡山市は、損害賠償請求をしましたが、被害を受けた住民の個人情報元に戻すことはありません。

なんでも かんでも

官から民へでは
問題が続出

たった2ヶ月で 保育所閉鎖へ

東京都は保育所の民営化を進め、公立保育所を次々につぶしてきました。しかし、その受け皿で、都の認証を受け新設された民間保育所がたった2ヶ月で閉鎖するということが起こりました。閉鎖の理由は、民間業者の経営難。経営者の都合で、子どもたちは保育所から追い出されることになりました。しかも、この業者が保育士の人数などウソの申請をしていたことも明らかになっています。

(きりとり)

50円切手の
ご協力を
お願いします

〒100-0001

大阪府関係職員労働組合 宛

府職員会館分館内

大阪市中央区大手前2-1-1 59

郵便はがき

5
4
0
0
0
0
8

(きりとり)

府税業務の民間委託

に反対し、見直しを

求める請願署名に

ご協力ください。

大至急
です



切手のご協力をおねがいします